

群馬県立高崎高等学校（通信制）学校評価一覧表②（平成29年度版）

（様式2）

| 羅 針 盤                                    |  | 達 成 度   |   |   | 改 善 状 況 の ま と め  | 学 校 関 係 者 評 価  | 次 年 度 の 課 題   |   |   |   |   |
|--|--|---|---|---|--|--|---|---|---|---|---|
| 評 価 対 象                                  | 評 価 項 目  | 具体的数値項目   | ① | ② |  |  |   | 総合  |   |   |   |
| I 職員が一体となって地域社会の期待に応えられる特色ある学校づくりを推進する。  | 1 充実した学び直しの場を生徒に提供するという、本校通信制の使命を共通の認識とし、連携して業務を遂行する。                  | ①活動生徒の80%以上が、自分の学校が好きだと感じている。<br>②面談や職員会議を通じて、全職員が本校通信制の教育課題について認識していることが確認されている。   | A | A | A  | 充実した学び直しの機会を生徒に提供するため平成25年度から開始した「TKTプロジェクト」の成果を検証し、活動の見直しを行った。生徒の単位修得状況は向上してきており、単位修得・卒業に役立つものについては継続し、さらに効果を上げられるよう工夫していきたい。     | 面接や平日指導などの取組を通じて、生徒の学習に効果があらわれ、卒業予定生徒数も3年連続で40人台後半という結果をもたらしている。今後とも課題の把握、改善と工夫に努めていただき、通信制の将来像も視野に取り組みんでいただきたい。                                    | 通信制課程を選択した生徒および保護者の期待を踏まえ、少しでも多くの生徒が学習を継続し単位を積み重ねて卒業要件に到達できるよう、今後も組織的に諸活動の改善につとめる。特に各種学習講座への参加者を増やし、基礎学力の不足している生徒への支援を充実させたい。また、生徒・保護者への的確な情報発信により、本校通信制の取組に対し理解を求めていくとともに、中学校や地域社会等、外部に対しても一層アピールしていく。 |   |   |   |
|  | 2 情報の収集と公開を積極的に行い、保護者、同窓会、地域と連携して特色ある開かれた学校づくりを推進する。                   | ③毎月「学校通信」を発行し、年間を通してWebページを更新し公開することで、本校通信制の特色を広く紹介している。<br>④生徒・保護者への学校評価アンケートを年2回実施し、集計結果を広く公表するとともに、保護者あての発送を年3回実施する。   | A | A | A  |  |   |   | ③ホームページは数年前の写真が使われているなど内容が古くなっていったため、新しい写真に差し替えるなど見直しを行っている。<br>④生徒・保護者へのアンケートは、予定通り実施し、結果を公表したが、回収率が上がらないのが課題である。生徒への毎月の発送とともに、未成年生徒の保護者への発送を年3回実行しており、保護者を交えた未成年生徒との三者面談の実施とともに連絡を密にした。   | 引き続き通信制における学習・行事などの最新の情報発信に努め、多様な学び方があることを発信してもらいたい。<br>また、在校生の保護者に対しても、意見収集と情報発信を行い、連携して生徒の育成にあたっていただきたい。  | ③学校通信の内容の充実や、ホームページのまめな更新を心がけ、情報の発信に努めていきたい。<br>④生徒・及び保護者アンケートの回収率が上がるよう工夫する。また年3回の保護者発送を継続し、三者面談とともに連絡・情報提供を充実させる。その際保護者から寄せられた意見・要望も、検討の上必要に応じて学校運営に反映させていく。  |
| II 生徒一人ひとりの「学びたい」気持ちを大切に通信制独自の教育活動を展開する。 | 3 多様な生徒に対応するよう教育課程を常に見直しなが、きめ細かい教育活動を展開する。                             | ⑤本校の教育課程に生徒・職員の80%以上が満足している。<br>⑥今年度入学した生徒の70%以上が学習活動を継続している。   | A | A | A  | ⑤教育課程事態は変えていないが、より生徒の実態に即したものにすため、レポートの回数や内容について見直しを行った。<br>⑥29年度入学の入学生については90%以上が学習を継続している。引き続き新入生への学習のガイダンスや面談による個別指導を充実させていきたい。 | 今後とも通信制生徒のニーズに即したカリキュラムの作成に取り組んでいただきたい。<br>入学生に対し、今後ともガイダンスや面談を通じた細かな支援を期待する。   | ⑤現行教育課程に対し教職員の3割はまだ改善すべきと感じている。今後も教育課程の実施状況の検証を進めながら、レポート・テストの回数や内容を検討し、運営面での改善を進めたい。<br>⑥新入生はじめ編入生・転入生に対する学習サポートを継続する。途中転入生については三者面談を適宜実施し、進路指導にも力を入れる。  |   |   |   |
|  | 4 職員の報告課題（以下レポートと称す）の準備・添削指導及び面接指導（以下スクリングと称す）におけるスキルを向上させ、学習指導の改善を図る。 | ⑦シラバスに基づき生徒の学習計画作成及び遂行を指導し、レポート添削は集中時期以外は原則3日以内に処理し生徒に返送している。<br>⑧教員の資質向上を図るため、年間2回以上授業見学及び授業研究会を実施、あるいは研修会等に参加している。<br>⑨80%以上の生徒がレポート及び添削指導、スクリングでの面接指導の内容に満足している。 | B | B | B  |  |   |   | ⑦シラバスは控室に常備し、生徒の利用の便を図った。レポート処理では、科目の特性や受講生徒数等の関係で、一部科目で返却が遅延しがちであったが、内容と質を維持しつつ、効率的な処理を目指したい。<br>⑧校内研修を3回実施し、教員相互の授業参観を全員2回以上行った。また桐生女子高校通信制との相互訪問を行い、レポート交換、授業見学及び情報交換会を実施して、通信制の課題やその解決策等を話し合った。<br>⑨今後とも指導要領の目標を踏まえ、主体的な学びを導くよう、レポートの添削指導及びスクリングでの面接指導の改善につとめていく。 | レポートの質と内容を保ちながら、生徒が意欲をもって学習に取り組めるよう工夫を続けられたい。<br>また、他校と連携しながら、新指導要領の要点である生徒の主体的な学習や深い学びの実現に向けて、通信制の現状に即した効果的な取組を図るべく研修等に取り組んでいただきたい。<br>さらに、読書に関する指導等もできると、通信制の生徒ならではの読み方ができて、深い学びにつながると考えるので、検討してはどうか。 | ⑦生徒の主体的な学習を促し、基礎学力の蓄積と、深い学びを促せるよう、レポートの内容を工夫し、丁寧な添削と迅速な返却に努めたい。また各種業務の効率化など、レポート及び学習指導に時間を割ける環境と体制整備にも取り組みたい。<br>⑧引き続き教員相互の授業観察や、通信制独自の研修や全日制との共同研修や授業見学を進めていきたい。また県内の公立高校通信制との交流を図り、情報交換を進めていきたい。<br>⑨レポートの内容、添削指導に関する研修を充実させたい。 |
|  | 5 学習機会（時間・場所）の確保に努め、生徒卒業に向けた単位修得を支援する。                                 | ⑩各種講座や個別指導等の学習支援について、参加した生徒の80%以上が満足している。<br>⑪活動生徒一人あたりの平均取得単位数が7.0以上である。   | A | A | A  |  |   |   | ⑩「レポート作成講座」、「夏季集中講座」、個別指導等を行い、生徒の学習を積極的にサポートした。また、活動生徒全員を対象とする学習相談面接にも力を注ぎ、個々の生徒のニーズの把握に努めた。<br>⑪活動生徒一人あたりの平均取得単位数は7.0を超え、目標に到達する見込みである。  | 学習支援が必要な生徒が多数在籍しており、高校卒業資格取得実現に向けた粘り強い指導が求められている。生徒面談と各種の学習指導等を通じて生徒の支援に取り組まされたい。   | ⑩各種講座等、学習をサポートする体制は整っているが、サポートを必要とする生徒の参加が少ないのが課題である。粘り強く各種講座への参加を促すとともに、指導内容の充実を図りたい。各講座の実施時期・時間や方法・内容等を検討し、より参加しやすく、また参加することに意義を感じるものとなるよう改善を図り、生徒にアピールしたい。<br>⑪生徒の卒業単位充足に向け、学習講座、個別指導、生徒面談など、引き続き様々な場面で粘り強く指導を継続する。            |
| 6 通信制独自の学校行事で生徒の意欲を喚起する。                 | ⑫校内生活体験発表会に参加した生徒の80%以上が満足している。<br>⑬70%以上の生徒が学校行事に楽しさや意義を感じている。        | B   | A | A | ⑫今年度も3名の発表者を目標に、早い段階から生徒募集・声かけを行った。<br>⑬行事ごとに生徒・職員アンケートを行い、検討協議を踏まえ、企画立案を行っている。生徒の満足度は97%であった。 | 生徒が参加して意義と価値を感じられるよう、行事の企画・立案と検証を継続されたい。   | ⑫学校全体としての発表者選びの機会がないので、特活の時間での全生徒の作文の機会作りなどを検討したい。<br>⑬引き続き、生徒にとり参加する価値のある行事の工夫につとめる。事後アンケート等で常に実施内容の検証を行い、広い視野から企画立案し、参加生徒を増やすための工夫を続け、マンネリ化を防ぎたい。 |   |   |   |   |

群馬県立高崎高等学校（通信制）学校評価一覧表②（平成29年度版）

（様式2）

| 羅 針 盤   |  | 達成度  |   |   | 改善状況のまとめ   | 学校関係者評価   | 次年度の課題  |   |
|---|--|--|---|---|--|---|---|---|
| 評価対象  | 評価項目   | 具体的数値項目  | ① | ② |  |   |   | 総合  |
| Ⅲ 生徒の自主性を重んじつつ、充実した学校生活が送れるように適切な指導を行う。         | 7 問題を抱えた生徒の状況を的確に捉えて個別に指導する。   | ⑭支援が必要な生徒の情報を全職員が共有し連携しながら、共感的・組織的に援助している。                                   | B | B | B  | ⑭様々な生徒が安心して登校できる学習環境づくりを心掛けるとともに、生徒が抱えている問題について情報を職員間で共有し、個別に適切な指導を心掛けた。<br>⑮「教育相談健康調査」を実施し、不安を抱えた生徒については職員間で情報を共有し、必要があればカウンセリングを行った。また「いじめアンケート」を行い、いじめの未然防止、早期発見を心掛けた。現在のところいじめは見られないが、引き続き注意を傾けていきたい。 | 支援が必要な生徒、問題を抱えている生徒への丁寧な対応を今後とも継続していただくとともに、生徒が安心して学習に専念できる環境の保全と維持に努めていただきたい。  | ⑭特別な支援を必要とする生徒が安心して支援を受けられるよう、生徒の相談体制の充実ならびに、職員間の情報共有とスキルの向上・充実を図る。<br>⑮不安や悩みを抱えていても誰にも相談できないでいる生徒が、もっと気軽に学校カウンセラーによるカウンセリングを受けられるようにするにはどうしたらよいか、対策を考えていきたい。 |
|   |  | ⑯専門家や関係機関等からの情報や助言を適宜得ながら、時機を逃さず必要な支援を行っている。いじめ発生防止に努め、またいじめの解消率が100%である。    | A | A | A  |   |   |   |
|   | 8 生徒は活発で規則正しい充実した学校生活を送っている。   | ⑯生徒への評価アンケートの結果、80%以上の生徒が規則正しい学校生活を送っていると感じている。<br>⑰80%以上の生徒が安心して学校生活を送っている。 | B | B | B  | ⑯目標持ち生活している82%、計画的にレポートを提出している62%、計画的にスクーリングに出席している85%で、回答を寄せた生徒は、ほぼ目標に到達している。<br>⑰回答生徒の84%が安心して快適な学校生活ができていると感じている。  | 今後とも生徒が規則正しい学校生活を送れるよう、はたらきかけを期待したい。<br>引き続き学校安全の保持と快適な学習環境の維持・改善に取り組んでいただきたい。  | ⑯スクーリングや生徒面談などの機会を通じて、生徒の積極的かつ計画的な学習活動を促す。特に基礎学力が不足する生徒に対しては、意欲の向上を促す指導を心掛ける。<br>⑰安心・安全で快適な学習環境の確保は、学校運営の基本であり、今後ともいじめのない安心・安全な学習環境の維持に努めたい。                  |
| 9 生徒会活動の活性化と生徒同士の交流の深化を図る。                      | ⑱70%以上の生徒が生徒会活動（特別活動）の楽しさや活動の意義を感じている。<br>⑲「生徒会通信」を8月を除く毎月発行する。          | A  | A | A | ⑱生徒会が係わる各種行事の改革を行った。球技大会では、新しく「アルティメット大会」を実施した。生徒会主催の行事では、昨年度のクイズ大会に清掃活動を加えて奉仕活動の意義を認識させた。<br>⑲臨時も含めて予定通り発行できた。                            | 新しい取組を検討することにより、活発な生徒会活動となるよう、生徒の活動のサポートを継続して欲しい。   | ⑱生徒会役員との連絡や相談を密にし、余裕を持って行事を計画・運営するとともに、内容の充実をはかっていきたい。<br>⑲本当に必要な情報を的確に伝えられるように、本部役員の担当者との打ち合わせの回数を増やすとともに、内容も充実したものにしていきたい。        |   |
|   |  | B  | B | B |  |   |   |   |
| Ⅳ 生徒一人ひとりの状況に即しながら、主体的な進路選択に結びつく適切な指導           | 10 生徒一人ひとりの入学の動機や目的に合わせた進路目標を立てさせ、卒業および卒業後の進路実現を支援する。                    | ⑳「進路の特別活動」参加者の80%以上が参加してよかったと感じている。  | A | A | A  | ㉑生徒の取得単位数に応じた3グループ各2回計6回の「進路の特別活動」を予定通り実施した。参加生徒からは大変好評であった。また「進路情報」を毎月発送し、指導と情報提供につとめた。各担任においても生徒面談で進路相談及び指導に心がけ、進路実現へのサポートを充実させた。<br>㉒就職、進学ともにも生徒への情報提供に努めた。  | 進路指導の重要性も考えると、生徒の単位取得段階に応じた進路の特別活動は好評とのことであり結構である。今後も実施内容の工夫に努めるとともに、適切な情報の収集及び情報提供に引き続き取り組んでいただきたい。                                | ㉑進路希望別の特別活動の設定等も考え、生徒の希望に合った内容の特別活動を実施することにより、より多くの生徒が参加し易くなるように特別活動を計画したい。<br>㉒就職情報はもちろん、新課程入試の情報も生徒に発信できるよう情報収集をしていきたい。                                     |
|   |  | ㉑活動生徒の70%以上が、学校の提供する進路情報や進路に関する学習活動が進路選択に役立つと感じている。                          | A | A | A  |   |   |   |
| 11 地域や産業界、職業安定所等の外部機関、全日制との連携を深めながら生徒の進路先を開拓する。 | ㉒外部機関と連携しながら適切な進路指導を行っている。<br>㉓卒業予定者の70%以上が、卒業に向けて学校から必要な支援が受けられたと感じている。 | A  | A | A | ㉒職員への情報提供、職員間の情報交換に努めるとともに、就業実習や就職については産業技術専門校、ハローワーク等、外部機関と連絡を取り合い対応した。<br>㉓卒業予定の生徒に対しては、学習の進捗状況に基づき適切にアドバイスや指導を講じ、順調に単位が取得できるよう働きかけを行った。 | 卒業予定生徒に対する高校卒業資格取得への的確な指導と、外部機関とも連携した進路指導に引き続き取り組まれない。  | ㉒今後とも、職員間の情報交換を円滑に行うとともに、外部機関との連携をはかりながら進学・就職指導に取り組んでいく。<br>㉓個々の生徒の状況を踏まえた指導に取り組む。なお、発達障害等のある生徒の就労支援については、支援センター等の活用を視野に入れて臨んでいきたい。 |   |
|   |  | A  | A | A |  |   |   |   |
| Ⅴ 校内環境の整備や教育設備の充実を図る。                           | 12 学校安全と校内美化の徹底を図る。  | ㉔80%以上の生徒が安心して快適な学校生活を送ることができていると感じている。                                      | A | A | A  | ㉔防災避難訓練は年3回実施。回答を寄せた生徒のうち、87%が防災訓練の意義を認めており、また安心して快適な学校生活がおくれていると感じる生徒は84%であった。   | 時を選ばず発生する災害など非常事態に備えた訓練や日頃の準備など、防災対策に引き続き取り組んでいただき、安全で快適な学習環境の実現に取り組まれない。   | ㉔全日制と連携し、より良い学習環境の確立に向けた環境整備を推進する。特に障害を持つ生徒、高齢の生徒、体調不良の生徒等、すべての生徒が安心して快適な学校生活がおくれる環境が提供できるよう、物心両面から工夫していく。  |
|   | 13 時代の要請に適合した校内環境を整える。   | ㉕職員の80%以上が校内LANやメール送信の整備状況に満足している。<br>㉖全職員が省資源や節電を実行できたと自己評価している。            | B | B | B  | ㉕職員からはネット接続のパソコンを増やしてほしいという意見が多かった。<br>㉖節電に関しては全職員で徹底している。資源の再利用についてもかなり浸透してきている。   | 利便性の高い環境づくりを模索しつつ、情報の管理には最善の注意を払われたい。<br>また、職員の節電意識を生徒に対してもはたらきかけていただきたい。   | ㉕可能であればネット接続のパソコンの数を増やせるよう努力していきたい。<br>㉖節電は生徒の意識の向上も必要である。また、印刷は再生紙利用をまず検討してもらおう。   |